Hitachi Koki

日立かんな

P 20 (SC) 〔替刃式〕

取扱説明書

このたびは日立かんなをお買い上げいただき，ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり，正しく安全にお使いください。
お読みになった後は，いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。

二重絶縁

HITACHI

目　　次

ページ

⚠警告、⚠注意、注 の意味について

ご使用上の注意事項は「⚠ **警告**」、「⚠ **注意**」、「**注**」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

⚠警告 ：**誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。**

⚠注意 ：**誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。**

なお、「⚠ **注意**」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

注 ：**製品の据付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。**

電動工具の安全上のご注意

- 火災，感電，けがなどの事故を未然に防ぐために，次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に，この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上，指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は，お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠ 警　告

① 作業場は，いつもきれいに保ってください。
- ちらかった場所や作業台は，事故の原因になります。

② 作業場の周囲状況も考慮してください。
- 電動工具は，雨中で使用したり，湿った，または，ぬれた場所で使用しないでください。
- 作業場は十分に明るくしてください。
- 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。

③ 感電に注意してください。
- 電動工具を使用中，身体を，アース（接地）されているものに接触させないようにしてください。
（例えば，パイプ，暖房器具，電子レンジ，冷蔵庫などの外枠）

④ 子供を近づけないでください。
- 作業者以外，電動工具やコードに触れさせないでください。
- 作業者以外，作業場へ近づけないでください。

⑤ 使用しない場合は，きちんと保管してください。
- 乾燥した場所で，子供の手の届かない高い所または錠のかかる所に保管してください。

⑥ 無理して使用しないでください。
- 安全に能率よく作業するために，電動工具の能力に合った速さで作業してください。

⑦ 作業に合った電動工具を使用してください。
- 小形の電動工具やアタッチメントは，大形の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
- 指定された用途以外に使用しないでください。

⑧ きちんとした服装で作業してください。
- だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は，回転部に巻き込まれる恐れがあるので，着用しないでください。
- 屋外での作業の場合には，ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。
- 長い髪は，帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

⚠ 警　告

⑨ 保護メガネを使用してください。
- 作業時は，保護メガネを使用してください。また，粉じんの多い作業では，防じんマスクを併用してください。

⑩ 防音保護具を着用してください。
- 騒音の大きい作業では，耳栓，イヤマフなどの防音保護具を着用してください。

⑪ コードを乱暴に扱わないでください。
- コードを持って電動工具を運んだり，コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
- コードを熱，油，角のとがった所に近づけないでください。

⑫ 加工する物をしっかりと固定してください。
- 加工する物を固定するために，クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で，両手で電動工具を使用できます。

⑬ 無理な姿勢で作業をしないでください。
- 常に足元をしっかりさせ，バランスを保つようにしてください。

⑭ 電動工具は，注意深く手入れをしてください。
- 安全に能率よく作業していただくために，刃物類は常に手入れをし，よく切れる状態を保ってください。
- 注油や付属品の交換は，取扱説明書に従ってください。
- コードは定期的に点検し，損傷している場合は，お買い求めの販売店，または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。
- 継ぎ（延長）コードを使用する場合は，定期的に点検し，損傷している場合には交換してください。
- 握り部は，常に乾かしてきれいな状態を保ち，油やグリースが付かないようにしてください。

⑮ 次の場合は，電動工具のスイッチを切り，さし込みプラグを電源から抜いてください。
- 使用しない，または，修理する場合。
- 刃物，トイシ，ビットなどの付属品を交換する場合。
- その他，危険が予想される場合。

⑯ 調節キーやスパナなどは，必ず取りはずしてください。
- 電源を入れる前に，調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。

⑰ 不意な始動は避けてください。
- 電源につないだ状態で，スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- さし込みプラグを電源に差し込む前に，スイッチが切れていることを確かめてください。

⑱ 屋外使用に合った継ぎ（延長）コードを使用してください。
- 屋外で使用する場合，キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの継ぎ（延長）コードを使用してください。

⚠ 警　告

⑲ 油断しないで十分注意して作業を行なってください。

- 電動工具を使用する場合は，取扱方法，作業のしかた，周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- 常識を働かせてください。
- 疲れているときは，使用しないでください。

⑳ 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に，保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し，正常に作動するか，また，所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整および締め付け状態，部品の破損，取り付け状態，その他，運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- 損傷した保護カバー，その他の部品交換や修理は，取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は，お買い求めの販売店，または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。
  スイッチが故障した場合は，お買い求めの販売店，または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。
- スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は，使用しないでください。

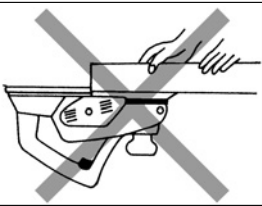
㉑ 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- この取扱説明書および弊社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメント以外のものを使用すると，事故やけがの原因になる恐れがあるので，使用しないでください。

㉒ 電動工具の修理は，専門店に依頼してください。

- この製品は，該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は，必ずお買い求めの販売店，または日立工機電動工具センターにお申し付けください。
  修理の知識や技術のない方が修理すると，十分な性能を発揮しないだけでなく，事故やけがの原因になります。

回 二重絶縁について

電気が流れる導体部と人の触れる外枠部の間が，二つの絶縁物で二重に絶縁されている電動工具であり，この製品には“回”マークを表示しています。
二重絶縁工具は，感電に対し安全性が高められています。
異なった部品と交換したり，間違って組み立てたりすると，二重絶縁構造ではなくなり，安全でなくなる場合があります。
電気系統の分解・組立や部品の交換・修理は，お買い求めの販売店，または日立工機電動工具センターにご用命ください。

かんなの使用上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが，かんなとして，さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠ 警　告

① **使用電源は，銘板に表示してある電圧で使用してください。**
表示を超える電圧で使用すると，回転が異常に高速となり，けがの原因になります。

② **使用中は，本体を確実に保持してください。**
確実に保持していないと，けがの原因になります。

③ **切削する材料は，安定性のよい台に置いて作業してください。**
台が不安定ですと，けがの原因になります。

④ **材料を手に持っての切削はしないでください。**
かんな刃に触れ，けがの原因になります。

⑤ **本体を万力などで保持して，かんな刃を上向き（定置形）にした使い方はしないでください。**
かんな刃に手や身体が触れ，思わぬけがの原因になります。

⑤

⑥ **使用中は，切粉排出口に指などを入れないでください。**
回転しているかんな刃に触れ，けがの原因になります。

⑦ **使用中，機体の調子が悪かったり，異常音がしたときは，直ちにスイッチを切って使用を中止し，お買い求めの販売店，または日立工機電動工具センターに点検・修理を依頼してください。**
そのまま使用していると，けがの原因になります。

⑧ **誤って落としたり，ぶつけたときは，機体などに破損や亀裂，変形がないことをよく点検してください。**
破損や亀裂，変形があると，けがの原因になります。

⚠ 注　意

① **かんな刃や付属品は，取扱説明書に従って確実に取り付けてください。**
確実でないと，はずれたりし，けがの原因になります。

② **かんな刃の取扱いには，手袋，布などで手を保護し，十分注意してください。**
不用意に扱うと，切り傷の原因になります。

③ **使用中は，本体の底面に手など身体を近づけないでください。**
かんな刃に触れ，けがの原因になります。

④ **ベルトカバーの底面は，ベルトが覆われていないので，使用中，手などを近づけないでください。**
ベルトに手が触れ，けがの原因になります。

⑤ **かんな刃の交換や刃高調整後は，かんな刃取付ボルトを十分に締め付けてください。**
ボルトがゆるむと，思わぬけがの原因になります。

⑥ **スイッチを切った後も，惰性で回転しているかんな刃に注意してください。**
手などが触れると，けがの原因になります。

⑦ **回転させたまま，台や床などに放置しないでください。**
けがの原因になります。

④

⑤

各部の名称

外 枠
前部ベース
切粉排出口
後部ベース
テールカバー
ブラシキャップ
銘 板

図　1

ストッパ
スイッチ引金
コード
ノブ（切込調整用）
さし込みプラグ
コード
ベルトカバー

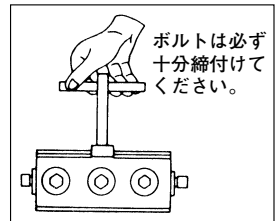
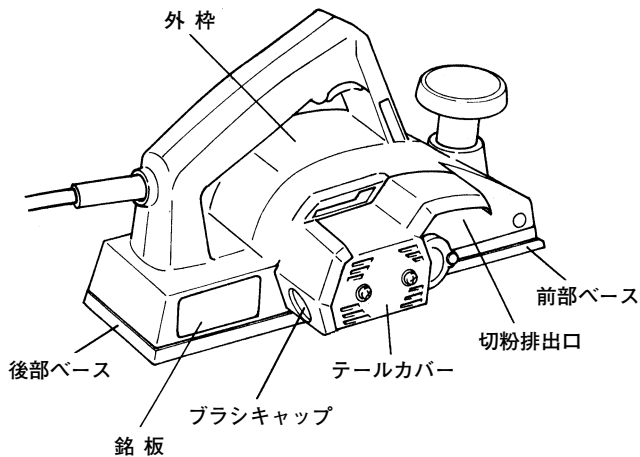
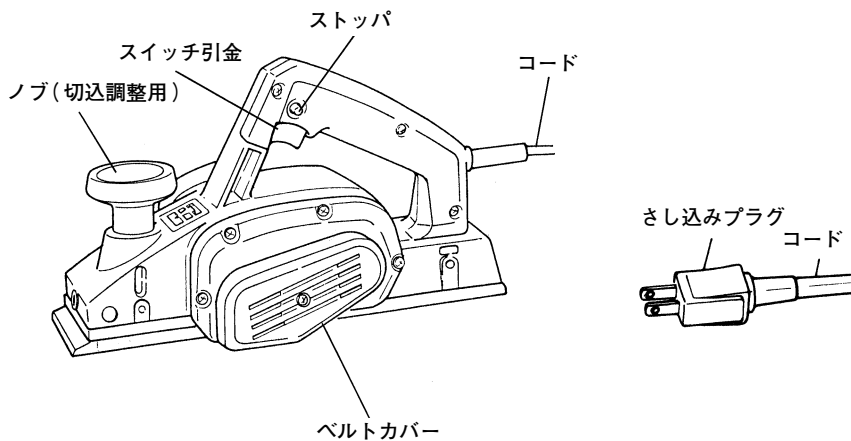
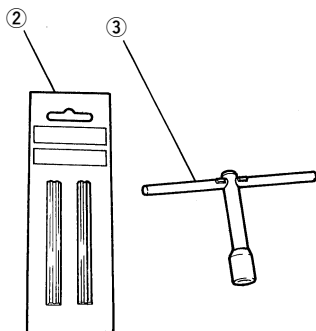



図　2

仕　　様

使用電源	単相交流50／60 Hz　共用 電　　圧100 V
切削幅	82㎜
最大切込み深さ	1㎜
質量	2.5㎏（コードを除く）
全負荷電流	4.8 A
消費電力	460 W
無負荷回転数	15000 min^{-1} ｛15000回／分｝
モーター	単相直巻整流子モーター
コード	2心キャブタイヤコード2.5 m

標準付属品

図　3

① 替刃式かんな刃（本体装着）…………2個
② 替刃式かんな刃……………………1組
③ ボックススパナ（かんな刃締付用）……1個

別売部品

① 案内定規
（止めネジ付）

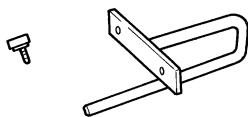
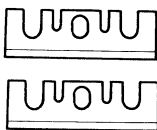
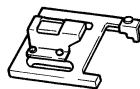



図4－1

② かんな刃（高速度鋼チップ付）
③ かんな刃（超硬チップ付）

図4－2

④ 刃高調整定規

図4－3

⑤ 刃とぎ保持具

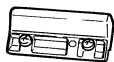



図4－4

⑥ ドライバー
（マイナス）

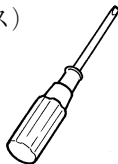



図4－5

⑦ 替刃式かんな刃

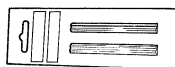



図4－6

⑧ 集じんアダプタ

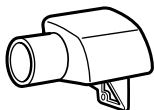



図4－7

＊⑧集じんアダプタは，集じん機で集じんする場合に使用します。
取付け方は，23ページをご参照ください。

用　　途

各種木材のかんな削り

図5－1

図5－2

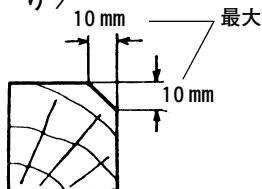
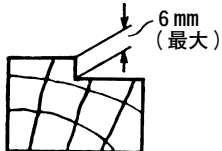
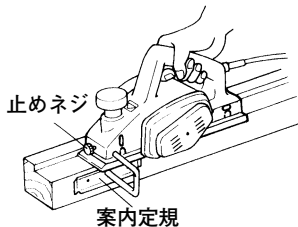



図5－3

相じゃくり時の案内定規の取付け図

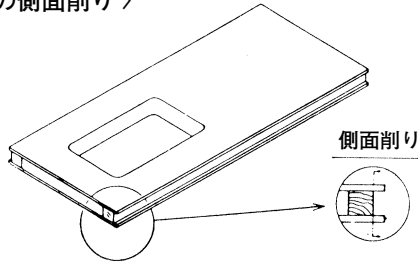



図５－４

作業前の準備

作業前に次の準備をすませてください。

１．漏電しゃ断器の確認………

この製品は二重絶縁構造ですので，法律により漏電しゃ断器の設置は免除されていますが，万一の感電防止のため，漏電しゃ断器が設置されている電源に接続することをおすすめします。

２．継ぎ（延長）コード………

⚠ 警　告
• 継ぎ（延長）コードは，損傷のないものを使用してください。

電源の位置がはなれているときには，継ぎコードを用意する必要があります。継ぎコードは使用する長さに応じて電流を流すのに十分な太さのものをご使用ください。

あまり長くしたり細い線を使ったりしますと電圧の降下が大きくなりモーターの力が弱くなります。継ぎコードはできるだけ短くしてご使用ください。

導体公称断面積	最大長さ
1.25 ㎟	15 m
2　　㎟	25 m
3.5　㎟	45 m

左の表は，本機に継ぐことのできるコードの太さ（導体公称断面積）とその最大長さを示します。

3．作業台（木製）を用意する………

かんな作業に合った，しっかりした作業台をご用意ください。作業台がぐらぐらしていますと危険です。作業台は安定した状態に設置してください。

○騒音防止規制について

騒音に関しては，法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。
ご近所に迷惑をかけないよう，規制値以下でご使用になることが必要です。
状況に応じ，しゃ音壁を設けて作業してください。

ご使用前に

⚠ 警 告
• **ご使用前に次のことを確認してください。1～3項については，さし込みプラグを電源にさし込む前に確認してください。**

1．使用電源を確かめる………

必ず銘板に表示してある電源でご使用ください。表示を超える電圧で使用するとモーターの回転数が異常に高速になり，機体が破壊する恐れがあります。また，直流電源で使用しないでください。製品の損傷を生じるだけでなく，事故の原因になります。

2．スイッチが切れていることを確かめる………

スイッチが入っているのを知らずにさし込みプラグを電源にさし込むと，不意に起動し，思わぬ事故のもとになります。スイッチはスイッチ引金（図２参照）を引くと入り，離すと切れます。スイッチの引金を引き，離したとき引金が戻ることを必ず確認してください。

3．かんな刃の締付けを確かめる………

工場で組立ての際は，すぐご使用できるように，かんな刃取付けのボルトは十分に締付けてありますが，念のため付属のボックススパナでもう一度締付けてください。

4．電源コンセントの確認………

さし込みプラグをさし込んだとき，ガタガタだったり，すぐ抜けるようでしたら修理が必要です。

お近くの電気工事店などにご相談ください。そのままお使いになりますと過熱して事故の原因になります。

削　り　方

⚠　警　告

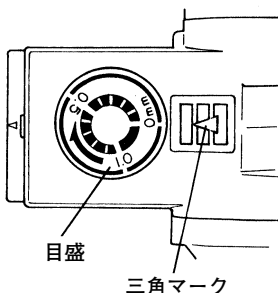
- 回転中のかんな刃には手や身体を近づけないでください。
- 使用中にかんな胴が止まったり，異音を発したときなどには，直ちにスイッチを切ってください。
- 作業中断時や作業後は，必ずスイッチを切り，さし込みプラグを電源から抜いておいてください。

⚠　注　意

- 運搬は必ずかんな胴が止まってからにしてください。スイッチを切っても惰性で回っているかんな刃に衣類などが巻き込まれたりして，けがの原因になります。また運搬時には，スイッチ引金から指をはなしてください。不用意にスイッチが入り，思わぬ事故をおこすことがあります。
- 回転するかんな刃にコードを接近させないよう十分ご注意ください。

注
- 切削中急激に変化させるような作業はさけてください。替刃式かんな刃やセットプレートの損傷をまねく恐れがあります。
- 被削材に釘や異物(ワニス，ペンキ，小石，土ぼこり，砂など)が付着していないことを確認してください。釘や異物は，かんな刃の損傷や異常摩耗をまねく恐れがあります。

1．切込み深さの調節………

図　6

⑴ ノブを目盛りの矢印の方向(時計の針の回転方向)に回し，目盛りを三角マークに合せます。目盛りの単位は㎜です。

（図6）

⑵ 切込み深さは０～１㎜まで調整できます。

2．仕上面は………

荒削りでは切込みを深くして能率的に削りますが，削りくずがつまらないで，きれいにとび出すように送りの速度を加減してください。仕上げ削りのときは切込みを浅くし，送りを遅くするときれいな面が得られます。

3．スイッチの操作………

スイッチは，指で引金を引くと入り，離すと引金が戻りスイッチが切れます。引金を引いてからストッパを押しますと，引金から指を離しても入ったままになり，連続運転に便利です。切るときは再び引金を引くと，ストッパがはずれ，引金から指を離すとスイッチが切れます。

4．削り始めと削り終りに………

⚠ 注　意
• 作業台や板の上に置いた状態でスイッチを入れると，けがの原因になります。

まず，かんな胴を木材の端からはなし，前部ベースを木材の上にのせ，かんなを平らに支えます。スイッチを入れ，そのまま静かに前へ進めます。

削り始めには前の方に力を入れ，削り終りには後の方に力を入れていつもかんなを平らに動かしてください。（図7，図8）

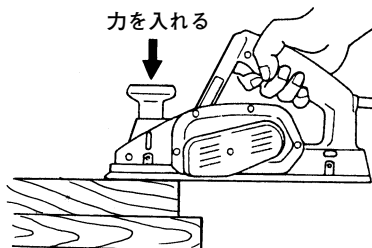



図　7（削り始め）

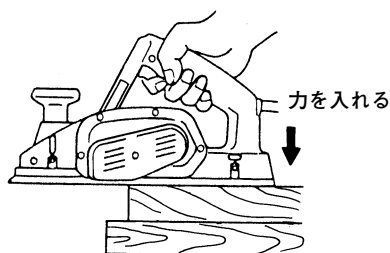



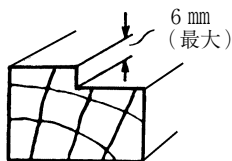
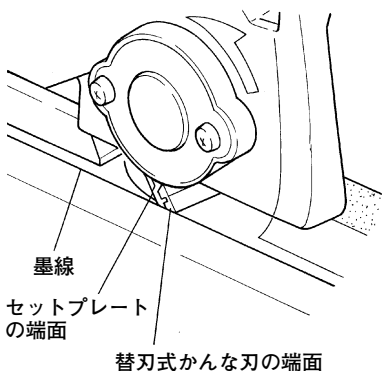
図　8（削り終り）

5．相じゃくり切削について（段差をつける削り方）………

〈相じゃくり〉
（案内定規を使用）

図　9

図９のような段差をつける切削時は，別売部品として用意してある案内定規をご使用ください。

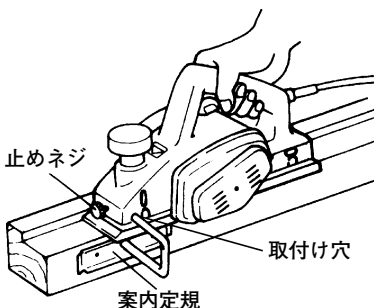
図　10

(1) 替刃式かんな刃の端面を墨線に合わせる

木材の削りたい幅の位置に墨線を書き，替刃式かんな刃の端面を墨線に合わせます。（図10）

注　• **セットプレートの端面から替刃式かんな刃の端面が少し出ていることを確認してください。**

図　11

(2) 案内定規を取付ける

案内定規を本体前部の取付け穴よりさし込み，木材の側面に突き当てて，その位置で本体の止めネジをしっかり締付けて固定してください。（図11）

注　• **案内定規は，木材の側面に確実に当て切削してください。
すき間のある状態で切削しますと削り幅がバラツキます。
相じゃくり深さは最大で６㎜です。**

6．削り終った後のかんなの持ち方………

削り終って，機体を片手でぶら下げるときなどは，危険防止のため，かんなの刃部（ベース面）が自分の体の方に向かないように保持してください。

替刃式かんな刃の取付け・取りはずし・刃高調整

⚠ 警　告

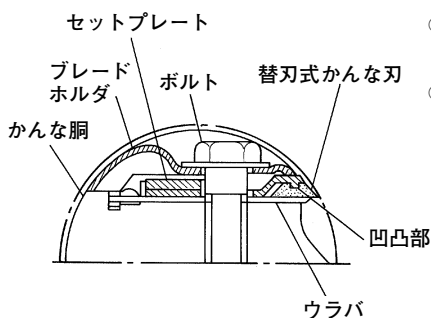
- 万一の事故を防止するため，必ずスイッチを切り，さし込みプラグを電源から抜いておいてください。

⚠ 注　意

- 刃物で指などを切らないよう十分注意し作業してください。
- かんな刃取付ボルトを十分に締め付けてください。

注
- **かんな刃，ブレードホルダの交換時は，必ずそれぞれ「一対」で交換してください。**
  バラバラで交換するとバランスが悪くなり，振動が出て，機体の寿命を低下させます。

1．替刃式かんな刃の取りはずし方………

図　12

○替刃式かんな刃固定部の構造を図12に示します。

○刃高は，工場出荷時に調整されておりますので下記手順による交換後も，刃高調整の必要はありません。

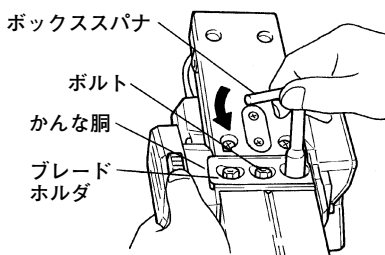
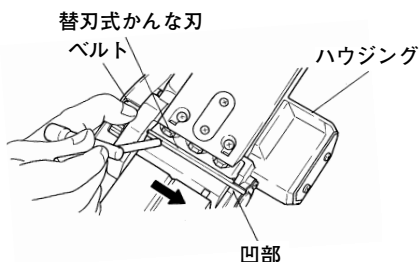
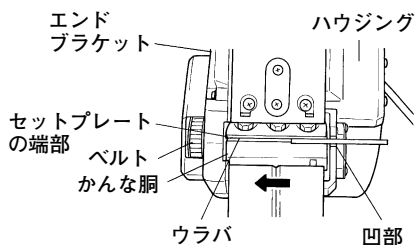
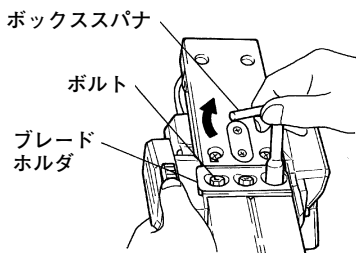



図　13

(1) ボルトをゆるめる

　ブレードホルダを固定しているボルト（３本）を付属品のボックススパナで軽くゆるめます。（図13）

図　14

(2) 替刃式かんな刃を取りはずす

替刃式かんな刃をハウジングの凹部に合わせ，ベルト側よりボックススパナの柄などで押して取りはずします。（図14）

2．替刃式かんな刃の取付け………

図　15

(1) 削りくずをふきとる

替刃式かんな刃やかんな胴に付いている削りくずをきれいにふきとります。（図15）

(2) 替刃式かんな刃を取り付ける

セットプレートの端部をハウジングの凹部に一致させ，その位置でベルトの反対側より，セットプレートの凹凸部に合わせて替刃式かんな刃を挿入します。（図15）

図　16

注　• **切粉排出側のセットプレート端面から替刃式かんな刃の端面が少し出ていることを確認してください。**

(3) ボルトを固定する

ボックススパナでボルト（３本）を十分に締め付けます。（図16）

3．替刃式かんな刃の刃高調整………

注　• **替刃式かんな刃は，工場出荷時に刃高調整されており，調整の必要はありませんが，万一，刃先がベースの面より極端に出すぎていたり，引込んでいる場合は，次ページ以降に示す手順で調整してください。**

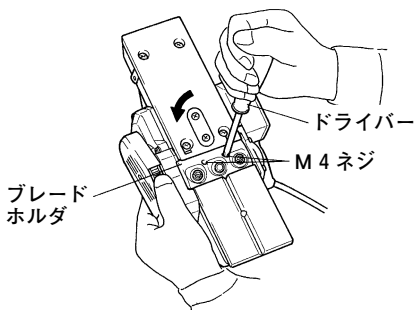



図　17

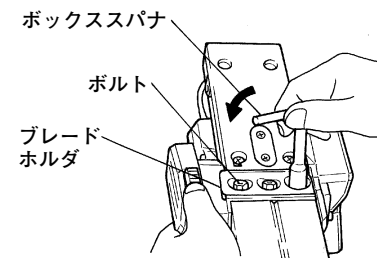



図　18

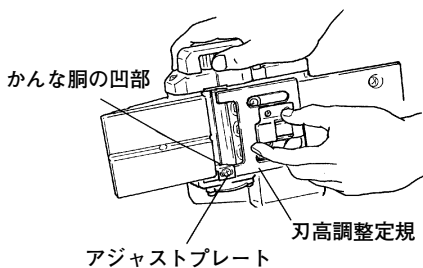



図　19

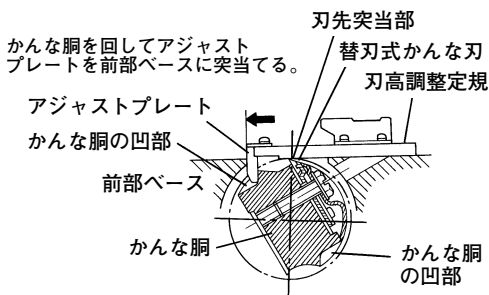



図　20

(1) M４ネジ(２コ)をゆるめる

ブレードホルダの穴に，ドライバーをさし込み，M４ネジ(２コ)を約１回転ゆるめます。(図17)

(2) ボルトをゆるめる

ブレードホルダを固定しているボルト（３本)を付属品のボックススパナでブレードホルダの座面からはなれる程度にゆるめます。(図18)

注
- **切粉排出側のセットプレート端面から替刃式かんな刃の端面が少し出ていることを確認してください。**

(3) 刃高調整を行なう

替刃式かんな刃を入れた後，図19のように別売部品の刃高調整定規を持ち，その刃先突当部で刃先を押しながら，定規先端部のアジャストプレートをかんな胴の凹部に入れます。(図19)

次にかんな胴を前部ベース側に回し，アジャストプレートを前部ベースに突当てます。(図20)

注
- **刃高調整定規の磁石に小さい釘などがついていますと刃高の精度が悪くなることがあります。釘などがついていないことを確かめてからご使用ください。**
- **刃高調整定規をベース面にのせたとき，替刃式かんな刃の凹部がセットプレートの凸部に挿入された状態で，替刃式かんな刃とセットプレートが同時に上下することを確認してください。**

図　21

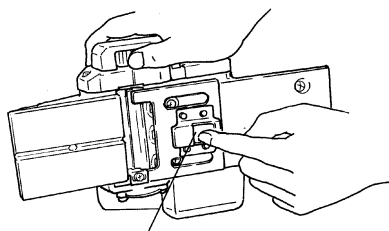
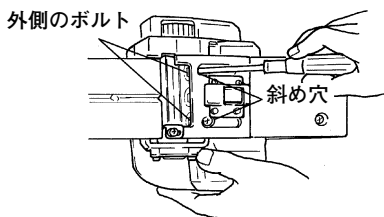
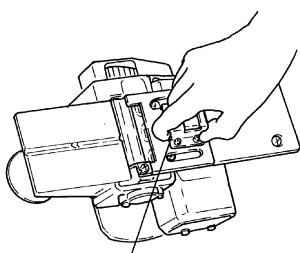
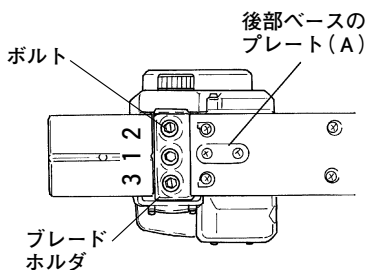



図21のように刃高調整定規のプレート（B）を指で「ポン」と押すと，刃高調整定規は後部ベースのプレート（A）（図24参照）に強く吸い着きます。

図　22

次にこの状態のまま，別売部品のドライバーで後部ベースの斜め穴より，外側のボルト2本を仮締めします。（図22）

これで刃高調整ができたことになります。

図　23

図23のように，刃高調整定規の後部を支点にして，前部を持ち上げ，定規を後部ベースからはずします。

(4) ボルトを固定する

ボックススパナで3本のボルトを図24の順序で，2～3回くり返して十分に締付けます。

(5) M4ネジを締付ける

ブレードホルダの穴にドライバーをさし込み，M4ネジ（2コ）を十分に締付けます。〔図17（矢印は逆向き）〕

(6) 反対側の替刃式かんな刃を取付ける

かんな胴を反転し，反対側も同じように取付けます。

図　24

注　• **ボックススパナの柄に，パイプなどをさし込んで柄を長くして締めますと，ネジ山をいためたりしますから避けてください。**

別売部品のかんな刃の取付け・取りはずし・刃高調整

⚠ 警　告

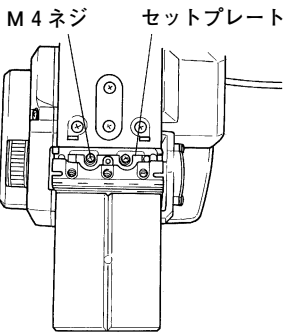
- 万一の事故を防止するため，必ずスイッチを切り，さし込みプラグを電源から抜いておいてください。

⚠ 注　意

- 刃物で指などを切らないよう十分注意し作業してください。
- かんな刃取付ボルトを十分に締め付けてください。

1．かんな刃の取付けと刃高調整………（かんな刃は別売部品）

注
- かんな刃，ブレードホルダの交換時は，必ずそれぞれ「一対」で交換してください。
  バラバラで交換するとバランスが悪くなり，振動が出て，機体の寿命を低下させます。

図　25

(1) ブレードホルダ，替刃式かんな刃を取りはずす

15ページの「1．替刃式かんな刃の取りはずし方」の項を参照して取りはずします。

(2) セットプレートを取りはずす

M４ネジ（２本）をゆるめてセットプレート，M４ネジ（２本）をはずします。（図25）

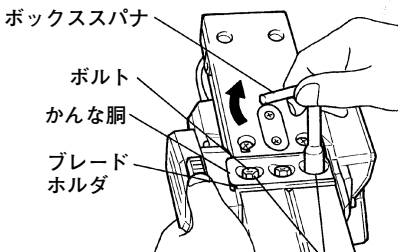



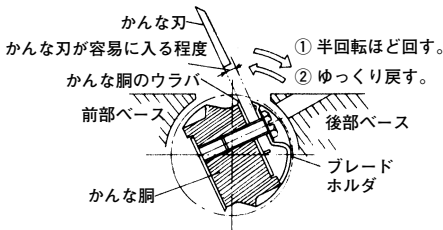
図　26

(3) ブレードホルダを取付ける

かんな胴の上にブレードホルダの穴位置を合わせ，ボルト（２本）でブレードホルダを軽く締め付けてください。

このとき，ボルトは頭部にマイナス溝付のボルトを使用し，外側に２本だけ取付けてください。（図26）

図　27

(4) かんな刃を取付ける

かんな胴を図 27 の矢印①の方向に半回転ほど回し，次に矢印②の方向にゆっくり回して，かんな胴のウラバとブレードホルダとの間にすき間をあけます。

かんな刃の両端を持って，ウラバとブレードホルダの間に入れます。（図 28）

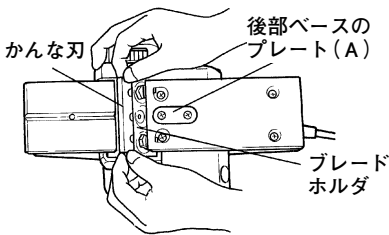



図　28

注 • **ウラバとブレードホルダとのすき間はかんな刃が容易に入る程度とし，あけ過ぎた時はボルトで調整してください。**

(5) 刃高調整を行なう

17 ページの替刃式かんな刃の「(3) 刃高調整を行なう」の項を参照して調整します。

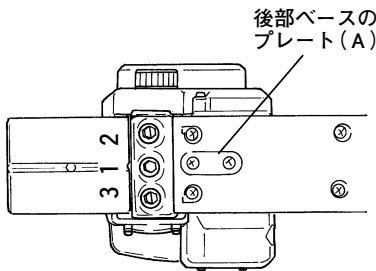



図　29

(6) ボルトを固定する

抜き取っておいた真ん中のボルトをネジ込み，ボックススパナで 3 本のボルトを図 29 の順序で，2 ～ 3 回くり返して十分に締付けます。

(7) 反対側のかんな刃を取付ける

かんな胴を反転し，反対側も同じように取付けます。

注 • **ボックススパナの柄に，パイプなどをさし込んで柄を長くして締めますと，ネジ山をいためたりしますから避けてください。**

2．かんな刃の取りはずし方………

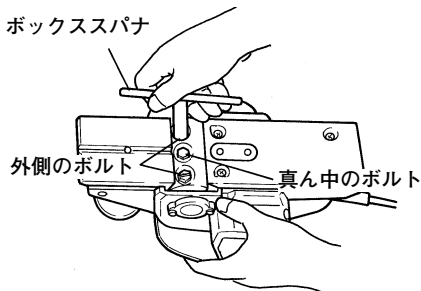



図　30

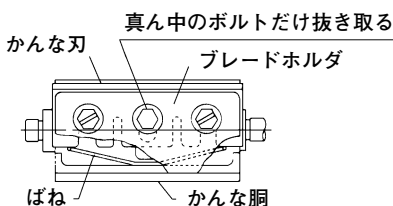



図　31

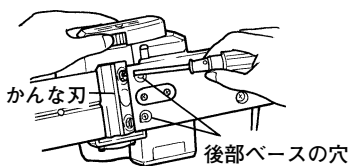
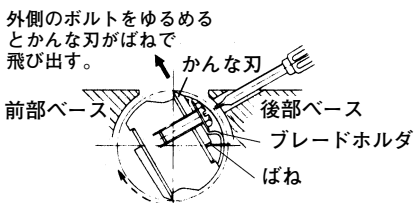
図　32

ボルトをゆるめすぎて，かんな刃がベース内に出たときは，必ず矢印（点線）方向に回してください。

図　33

(1) 付属のボックススパナで外側のボルト（２本）をゆるめ，つぎに，そのままで軽く締めなおします。（図30）

(2) 真ん中のボルトをボックススパナでゆるめて抜き取ります。（図30，31）

(3) 後部ベースの穴から，別売部品のドライバーをさし込み，外側のボルトの頭部の溝に合わせてゆるめると，かんな刃はばね（図31）に押されて数ミリ飛び出します。（図32）

(4) かんな刃の両端を持って，取りはずします。

注
- **外側のボルトはなるべく抜き取らないようにしてください。**
- **かんな刃が中のばねで前部ベースの内側に飛び出したら，（図33），かんな胴を必ず図33の点線の矢印方向に回し，かんな刃が外部に出た所で，刃を取り出してください。**
  矢印と反対に回しますと，刃がベースにくいこみ，各部を損傷させます。

別売部品のかんな刃のとぎ出しについて

刃とぎには，別売部品の刃とぎ保持具を使用すると便利です。

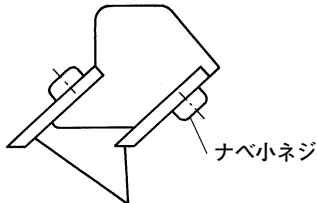



図　34

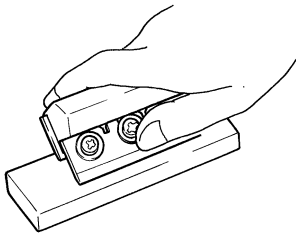



図　35

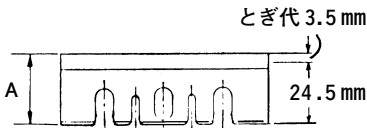



図　36

1．刃とぎ保持具の使いかた………

図のようにかんな刃を取付けて２枚同時に同じ刃先角度でとぐことができます。

この場合２枚のかんな刃の刃先面が同時にトイシに当たるようかんな刃を適当に出し入れして，調整してください。

（図 34，図 35 参照）

2．刃とぎ時期………

木材の種類，切込み深さなどにより異なりますが，普通は 500 m 前後削りましたら，とぎ直してください。

3．かんな刃のとぎ代………

3.5 ㎜ あります。即ちかんな刃のたけが 24.5 ㎜ になるまでとぎ直しをして使用できます。（図 36）

4．トイシ………

お手持ちの水トイシをご使用の場合は水に十分浸してからご使用ください。またトイシは使用しますとへこみが出来ますので，ときどき面を平らに修正してご使用ください。

別売部品の集じんアダプタの取付け・取りはずし

⚠ 警　告

- **万一の事故を防止するため，必ず使用する製品のスイッチを切り，さし込みプラグを電源から抜いておいてください。**

⚠ 注　意

- **集じんアダプタは，下記に従って確実に取付けてください。確実でないと，はずれたりし，けがの原因になります。**

1．取付け方………

(1) 図37に示す左側のナベタッピンネジＤ４×12の１本だけを取りはずします。（図37）

(2) 集じんアダプタをかんな本体の切粉排出口に合わせた後，同梱のナベタッピンネジＤ4×20を使い，集じんアダプタをかんな本体に固定します。（図38）

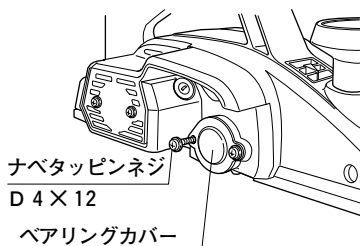
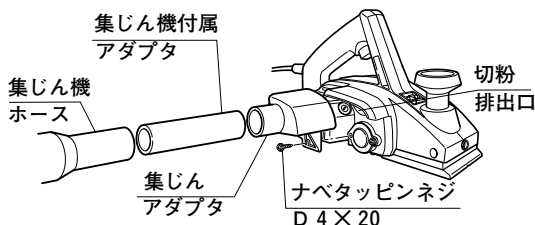



図　37　　　図　38

注 • **取りはずしたナベタッピンネジＤ４×12は，なくさないように保管してください。集じんアダプタを取りはずした後，ベアリングカバーの固定用にこのネジが再度必要になります。**

2．取りはずし方………

取りはずしは，上記の取付け方と逆の手順で行なってください。

保守・点検

⚠ 警　告
• 点検・手入れの際は，必ずスイッチを切り，さし込みプラグを電源から抜いておいてください。

1．かんな刃の点検………

かんな刃の切れ味が悪くなったものを，そのままご使用になっておりますと，モーターに無理をかけることになり，また能率も落ちますので早めに反対側を使用するか，新品と交換してください。

2．カーボンブラシの点検………

モーター部には，消耗品であるカーボンブラシを使用しております。

カーボンブラシの摩耗が大きくなりますと，モーターの故障の原因となりますので，長さが摩耗限度（５㎜）ぐらいになりましたら新品と交換してください。

また，カーボンブラシはゴミなどを取り除いてきれいにし，ブラシホルダ内で自由にすべるようにしておいてください。

注 • **新品と交換の際は，必ず図示の番号（21）の日立カーボンブラシを使用してください。**

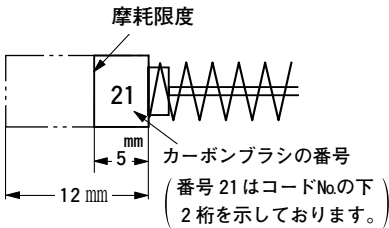



図　39

交換方法

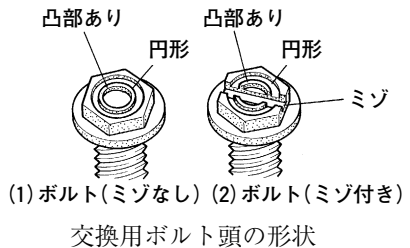
カーボンブラシはテールカバーをはずしてから，マイナスドライバーなどでブラシキャップ（図１参照）をはずしますと取り出せます。

3．各部取付けネジの点検………

各部取付けネジでゆるんでいるところがないかどうか定期的に点検してください。もしゆるんでいるところがありましたら締めなおしてください。

ゆるんだままお使いになりますと危険です。

注 • **かんな刃を固定しているボルトを紛失したり，損傷した場合は，必ずボルト頭の円形の中に凸部のあるボルトをお求めになり，交換してください。なお，本体購入時に装着されているボルトの頭には，円形の凹部があるだけで凸部がなく，形状が異なりますが全く支障はありません。**

交換用ボルト頭の形状

4．モーター部の取扱いについて………

モーター部の巻線部分は本機の心臓部ともいえます。巻線部分にキズをつけたり，洗油や水をつけたりしないよう十分注意してください。

注 • **モーター内部にゴミやほこりがたまると，故障の原因になります。使用後は，モーターを無負荷運転させて，湿気のない空気をテールカバーの風穴から吹き込んでください。ゴミやほこりの排出に効果があります。**

5．かんな胴のまわりをきれいに掃除してください………

特に湿った木材を削ったあとは，削りくず吐き出し口やかんな胴の裏刃の部分などに付着した削りくずをきれいに取り除いてください。

6．前部のベースなどの取扱いについて………

注 • **前部ベース，後部ベースおよび切込み深さ調整ノブの取付部は，特に高い精度を必要とする所ですので，入念に加工してあります。乱暴な取扱いをして，この部分をぶつけたりしますと，精度がくるい，切削作業に支障をきたすことがありますから，取扱いには十分ご注意ください。**

7．製品や付属品の保管………

使用しない製品や付属品の保管場所として，下記のような場所は避け，安全で乾燥した場所に保管してください。

○お子様の手が届いたり，簡単に持ち出せる場所
○軒先など雨がかかったり，湿気のある場所
○温度が急変する場所
○直射日光の当たる場所
○引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所

このような場所には保管しない。

ご修理のときは

この機体は，厳密な精度で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合は，決してご自分で修理をなさらないでお買い求めの販売店または日立工機電動工具センターにご依頼ください。

ご不明のときは，裏表紙の営業拠点にご相談ください。

その他，部品ご入用の場合や取扱い上でお困りの点がありましたら，ご遠慮なくお問い合わせください。

※（外観などの一部を変更している場合があります。）

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号(No.)などを下欄にメモしておかれますと、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日　　年　　月　　日	販売店
製造番号(No.)	電話番号

■ 日立工機電動工具センターにご用命のときは、下記の営業拠点にお問い合わせください。

● 全 国 営 業 拠 点

営 業 本 部	〒108-6020	東京都港区港南二丁目15番1号（品川インターシティＡ棟） ☎(03) 5783-0626(代)
北海道支店	〒060-0003	札幌市中央区北三条西四丁目（日生ビル） ☎(011) 271-4751(代)
東 北 支 店	〒984-0002	仙台市若林区卸町東三丁目3番36号 ☎(022) 288-8676(代)
東 京 支 店	〒108-6020	東京都港区港南二丁目15番1号（品川インターシティＡ棟） ☎(03) 5783-0629(代)
中 部 支 店	〒460-0008	名古屋市中区栄三丁目7番13号（コスモ栄ビル） ☎(052) 262-3811(代)
北 陸 支 店	〒920-0058	金沢市示野中町一丁目163番 ☎(076) 263-4311(代)
関 西 支 店	〒530-0001	大阪市北区梅田二丁目6番20号（スノークリスタル） ☎(06) 4796-8451(代)
中 国 支 店	〒730-0011	広島市中区基町11番13号（第一生命ビル） ☎(082) 228-0537(代)
四 国 支 店	〒761-0113	高松市屋島西町字百石1981 ☎(087) 841-6191(代)
九 州 支 店	〒813-0062	福岡市東区松島四丁目8番5号 ☎(092) 621-5772(代)

● 電動工具ご相談窓口 ── お買物相談などお気軽にお電話ください。

お客様相談センター　フリーダイヤル　0120-20 8822（無料）

※携帯電話からはご利用になれません。（土・日・祝日を除く　午前9：00～午後5：00）

電動工具ホームページ ── http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/

日立工機株式会社

507

部品コード　C99074501　N